

研修目的

1. チーム医療の重要性を理解する

(行動目標)

- ・院内の職員（医師、看護師、その他のコメディカルスタッフ）に、適切に挨拶できる。
- ・看護師と円滑にコミュニケーションをとることができる。
- ・指導医と円滑にコミュニケーションをとることができる。
- ・医療に係る他の職種とその役割を理解し、説明・実践できる。
- ・上記のなかで、臨床研修医としての役割を理解し、説明・実践できる。

2. 肺癌の診療に参加できる

(行動目標)

- ・肺癌の症状や危険因子について説明できる。
- ・肺癌の代表的な4つの組織型を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。
- ・胸部診察を実践できる。
- ・胸部レントゲン写真と胸部CTを読影できる（正常構造と異常陰影を区別し、陰影の性状を的確に表現できる）。
- ・肺癌の病期分類を説明できる。
- ・病期分類ごとの治療法および5年生存率を説明できる。
- ・胸部異常陰影あるいは喀痰細胞診陽性例に対する気管支鏡検査について説明できる（適応、導入法、喉頭から区域支までの解剖、合併症など）。

3. 肺切除術の機能的適応を判断できる

(行動目標)

- ・指導医の指導のもと動脈血採血を実施し、血液ガス分析所見を説明できる。
- ・肺機能検査の成績を正しく理解し、説明できる。
- ・一秒量や肺拡散能などの術後予測肺機能を計算し、周術期の呼吸器合併症リスクを予測できる。

4. 肺癌の標準術式を理解する

(行動目標)

- ・肺切除における適応を説明できる。
- ・肺葉切除術・区域切除術・部分切除術の手順と侵襲度を説明できる。
- ・肺門・縦隔リンパ節郭清の意義、転移の有無が予後に与える影響を説明できる。

5. 肺癌肺切除術に参加できる

(行動目標)

- ・開胸法（種類、切断する筋、開胸肋間などの解剖）を説明できる。
- ・胸腔内の解剖を説明できる。
- ・指導医の指導のもと、肺癌手術の補助や閉胸時の縫合を実践できる。

6. 肺切除術後管理に参加できる

(行動目標)

- ・術後胸腔ドレナージの原理と管理方法を説明し、実践できる。
- ・術後の輸液管理（術中の水分バランスを含む）を説明し、実践できる。

- ・術後疼痛管理の方法を説明し、実践できる。
- ・術後に起こり得る合併症を列挙し、説明および対応ができる。
- ・創部およびドレーン挿入部の処置を実践できる。
- ・ドレーン抜去の方法を説明できる。
- ・術後患者が気をつけるべき事項を説明できる。

7. 周術期において適切な患者-医師関係を築くことができる

(行動目標)

- ・入院患者との適切な会話を行うことができる。
- ・主治医による患者への説明を理解し、自らも適切な問診を行うことができる。
- ・術後の患者に対し、喀痰喀出・深呼吸・鎮痛などに関して助言できる。
- ・診察や処置の前後に手洗いを実践できる。
- ・適切に声がけをしながら処置を実践できる。

8. 気胸の診療に参加できる

(行動目標)

- ・気胸の症状、および好発年齢・性差について説明できる。
- ・女性の気胸や高齢者の気胸の特徴を説明できる。
- ・気胸の画像診断について説明できる。
- ・気胸の処置法を選択し、実践できる。
- ・胸腔ドレナージについて説明し、実践できる。
- ・気胸の手術適応について説明できる。
- ・気胸の手術法と成績について説明できる。
- ・緊張性気胸の診断および処置法について説明し、実践できる。
- ・指導医の指導のもと、気胸に対する手術の補助や閉胸時の縫合を実践できる。

9. 縦隔腫瘍の診療に参加できる

(行動目標)

- ・縦隔の部位別に好発する腫瘍を分類できる。
- ・胸腺腫に合併し得る疾患を列挙できる。
- ・胸腺腫の治療方針を説明できる。
- ・指導医の指導のもと、縦隔腫瘍に対する手術の補助や閉胸時の縫合を実践できる。

10. 膿胸の診療に参加できる

(行動目標)

- ・膿胸の時相および原因を分類できる。
- ・膿胸に伴う合併症を列挙できる。
- ・膿胸の治療方針を説明できる。
- ・指導医の指導のもと、膿胸に対するドレナージ術を行うことができる。
- ・指導教官の指導のもと、膿胸に対する手術の補助や閉胸時の縫合を実践できる。

習得できるアウトカム（能力）

1) 必ず習得できるアウトカム（能力）

- ・前述の行動目標を参照のこと。

2) 研修医の意向により習得できるアウトカム（能力）

- ・前述の行動目標を十分に達成したと確認できた研修医には、さらに上級の診療に参加してもらう。

具体的な指導方法・フィードバック方法（研修方略）

- ・診療は常に指導医とペアで行い、その場でのフィードバックに加え、カンファレンスなどを通じて繰り返しフィードバックを実施する。

週間予定表

	午前	午後	夕方
月	朝カンファ、回診、病棟	気管支鏡検査、病棟	回診
火	朝カンファ、回診、病棟	病棟回診・処置	術前カンファレンス、回診
水	朝カンファ、手術、病棟	手術、病棟回診・処置	術前カンファレンス、回診
木	朝カンファ、手術、病棟	気管支鏡検査、手術、病棟 回診・処置	術前カンファレンス、回診
金	朝カンファ、手術、病棟	手術、病棟回診・処置	回診

指導責任者および指導医

指導責任者：新井川 弘道 教授

指導医：石橋 直也 講師、佐々木 高信 助教、大島 穰 助教、野々村 遼 助教、上田 和典 助教

学会発表・論文作成に対する指導体制

指導医から与えられたテーマに基づき、データの収集や解析を行い、学会発表に向けて準備を進める。学会で発表した研究は、最終的に論文として発表できるよう、その作成の指導を行う。

2025年3月27日
呼吸器外科 新井川弘道